

令和5年度上大久保中学校だより

上中だより

第6号

令和5年9月29日(金)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

〇〇の秋!!

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

9月16日(土)、「響輝走舞～われらの祭 最高の舞台に～」をスローガンに掲げ、第44回体育祭を開催いたしました。ご来賓をはじめ、多くの地域・保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。当日は天候にも恵まれ、生徒一同本番に向けて練習してきた成果を十分発揮するとともに、和やかな雰囲気の中で感動あふれる体育祭になったと思っています。10月下旬には合唱コンクールを開催いたしますが、体育祭で得た協力性や団結力などを活かし、各クラスとも美しいハーモニーを奏でることを期待しています。

さて、この夏の異例な猛暑もやっと落ち着き、秋の気配を感じることができる陽気になってきました。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋……など、秋と結びつく言葉はたくさんあります。「〇〇の秋」と言われるのは、「気候がちょうどいいから」という理由のようです。夏は暑すぎてなかなか集中しづらく勉強・運動するのは大変、冬は寒すぎて頭や体が動かない。その点、秋は気候や気温がちょうど良く、勉強するにも読書・運動をするにももってこいの季節ということだそうです。

そこで、「〇〇の秋」から2つのことを話題にしてみたいと思います。

1つ目は、「スポーツの秋」です。8月以降、全国高校野球選手権、女子サッカー・バスケットボール・ラグビーのワールドカップ、4年に1回開催されるアジア大会、来年のパリオリンピックに向けた各競技の予選など、連日、スポーツに関する話題に事欠かない状況になっています。

そこで、「体育の日」と「スポーツの日」について触れてみます。もともと「体育の日」は10月10日に設定されていました。この日は、1964年に開催された東京オリンピックの開会式が行われた日で、この日を記念して「国民がスポーツに親しみ健康に過ごせるように」との目的で、国民の祝日「体育の日」としてお祝いされることになりました。しかし、2020年夏に2回目の東京オリンピックの開会式があることから、「スポーツの日」と名前を改めることが決まりました。名前を変えた理由として、学校の教科として定着している「体育」を「スポーツ」にした方が、「体育」よりも広い意味でとらえることができると考えたからだそうです。実は、スポーツについての法律が定められていて、そこには、**スポーツは、得意な人だけがするのではなく、「すること・観ること・支える(育てる)こと」で、誰もがスポーツと関わり、親しむことができるように!**との趣旨がこめられているそうです。プレーに真摯に挑む選手の姿を応援しつつ、少しずつでも体を動かしたりスポーツに取り組んでみたりしてはいかがでしょうか。

2つ目は、「読書の秋」です。10月27日から読書週間が始まります。この読書週間は、

終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

※「公益社団法人読書推進協議会」ホームページから

との説明がありました。また、文部科学省も、「**読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。**」と言っています。さいたま市は全国でも有数の蔵書数を誇りますが、本校にも16,470冊の蔵書があり、年間貸し出し数10,000冊を目指し、図書館司書さんや図書委員を中心に啓発活動に取り組んでいます。4月に実施された全国学力・学習状況調査の質問紙調査(中学3年生対象)において、「読書は好きですか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒は69.3%(全国平均66%)を占めました。朝読書の効果もあり、多くの生徒が読書に好意的であることは嬉しいことだと思います。近年、読書離れという言葉がささやかれるようにはなりませんが、時にはスマートフォンから離れ、紙をめくりながらじっくりと書物に親しむのはいかかでしょうか。

「スポーツ」と「読書」について触れてみましたが、ぜひ自分の「〇〇の秋」を見つけてみてください。